

2014年3月26日  
JFE鋼板株式会社

### 新型溶融めっきシミュレーターの導入について

JFE鋼板株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：今村晴幸）は、このたび、新型溶融めっきシミュレーターを当社研究開発センターに導入し、同装置の使用を開始いたしました。

近年の溶融亜鉛系めっき鋼板は、社会資本の老朽更新や住宅など建築物のリフォーム需要の増大、長寿命化を背景として、品質面でより高いレベルが要求されており、これらのニーズに迅速かつ高度な技術レベルで対応するために、同装置を導入しました。

連続溶融亜鉛めっきライン（CGL）は、鋼板の焼鈍設備と溶融亜鉛めっき設備で構成され、分速約150mの高速でめっき鋼板を製造する設備ですが、従来の実験室の装置では精度および機能の点で実機の製造条件を正確にシミュレーションすることが困難となっていました。今回、高速加熱・冷却装置や高精度センサーの配置と多機能化により、品質に影響を与える製造因子を短時間で忠実にシミュレーションすることが可能になりました。

新型溶融めっきシミュレーターの主な特徴は以下のとおりです。

- 1．実機における加熱冷却、めっき、ワイピング（エアによる付着溶融めっきの掻き落とし）、めっき後冷却の一連のプロセスを連続的にかつ精度よく再現することができます。
- 2．加熱・冷却のヒートパターン、焼鈍時の炉の雰囲気を迅速に切り替えることができ、また実機の2倍以上の高速加熱、高速冷却が可能となります。
- 3．全面に均一なめっき層を施したサンプルを作ることが可能となり、外観および性能の評価が容易になります。

当社は、今後、同装置を活用し、現行製品に関しては製造条件を最適化することにより高品質安定製造技術の向上を図るとともに、高耐食性鋼板などの新商品開発のスピードを加速してまいります。

以上

本件に関する問合せ先

JFE鋼板株式会社 総務部総務室 松本（03-3493-1326）



新型溶融めっきシミュレーター概観